

働團體と協力して進められ、先づ右翼組合會議の結成、大右翼結成の陰謀粉砕に直進し、そこに、日本労働俱樂部なる過渡的機關を設けて、この機關を通じて、眞實の労働組合戦線統一のための全国的労働組合會議の結成を目指して進められてゐる。この俱樂部の將來については尙多くの問題を藏してゐるが、大衆の統一運動への進出と實踐的效果によつて、統一運動の展開が期待せられる。

(5) 無産政黨の合同

大衆の政治的進出の傾向と統一運動への進出は、昨年七月に全國大衆黨を結成せしめ、我國無産政治戦線はそれによつて、社民黨、労働、大衆の三黨に整理せられたが、大衆黨はその労働團體の基礎的勢力に於て、名實共に日本の中堅的無産政黨として大衆の日常闘争を指導し、その壓力によつて、更に、單一無産黨の實現を目指して進んだ。この運動に應じて、労働黨の農民大衆先づ動き、労働黨内部の分裂主義を清算しつゝ、大衆黨との合同へと向つて来た。また、社民黨幹部は、この大衆黨を中堅とする統一運動を極力拒否したが、そのうちの合同派は社民實現同盟を結成し、これに反動的は、本年七月に全國労働大衆黨として結成し、これに反動的陣營に没落を急ぐ社民黨幹部の擴張主義的政策を残して全労働大衆は單一無産政黨の基礎工事を仕上げた。この合同の偉力は本年秋の第二回府縣會選舉戦だけについても現はれた。社民黨の當選者三名に對して、大衆黨は十三名の壓倒的多数

を獲得したことでだけでもその黨の影響力を想像するに難くないであらう。我等は、勿論、この選舉を無産階級闘争の全體の成績として見る時は別の批判をもつが、無産政黨陣營に於ける社民黨と大衆黨の占める重要性の著しい變動に對しては之を合同の偉力に求めないわけに行かない。

四、全國労働の運動概観

(1) 全國労働の地位

過去二年有半、恐慌の擴大深化の只中であつて、我が全國労働は、争議に組織に政治に統一運動其他の凡ゆる日常闘争に、文字通り血みどろの闘争を續けて来た。争議を指導すること七百二十二件、その参加人員は六萬五千三百四十人に達してゐる。これを同年度の同期間の我國の労働争議の統計と對比すれば、その件数に於て二六・五%、参加人員に於て三一九%が我が全國労働の指導によつて戦はれたこと、なる。勿論この兩者の統計の方法上の相違を考慮に入れても、今日の資本家的産業合理化と恐慌の波のうちにあつて、全國労働が如何に労働大衆の日常利害と闘争によつて重要な地位を占めてゐるかが想像せられやう。

しかも、これらの闘争の過程は、何れも、大衆の政治的進出を反映したのであつた。我が全國労働の手によつて指導せられた東西の大争議たる洋モスと住友製鋼の争議の如きは實にその代表的なものであつた。

の動きが、我國の労働運動の上に重要に影響をもつものも主としてこれによるのである。

(2) 我等の使命と若干の批判

我が全國労働は、昨年創立大會直後直ちに恐慌渦中に突入して、争議から争議に追はれて来た觀がある。このために、一面に於て合同直後の同盟の主體の整理完成の上に於て充分の努力を拂ふ餘裕をなかつた。今後と雖も、争議の激化、日常闘争の激化は下火になるものでないから、我等はこの方面に於ける闘争に對しては、より以上の努力を必要とするのだが、同時に、かかる情勢にあつて、より強力なる闘争を遂行するためには、同盟主體の整理完成を一日も忽にすることは出来ない。我等は、今後強力なる日常闘争と交互に結合して同盟主體の完成に努力せねばならない。同盟内部の産業別整理方針の確立とその遂行、内部統制の確立などは急務である。

これらの争議闘争は漸じて、徒らなる妥協協調によつて進ばれたものでない。我が全國労働が常に實踐的に一切の闘争を遂行することは、その犠牲の如何に甚かつたかによつて知られやう。即ち、その間に於ける犠牲は延人は二百四十四人の投獄者と延人員三萬八千九百七十七人の檢束拘留者を出してゐることによつても想像されるだらう。

しかし、我が全國労働は、争議を他の不純なる動機によつて行ふ如きことは斷じない。また、日先だけの闘争によつて遂に大衆の失望を招く如きこともない。我等は常にこの争議闘争を大衆の組織の擴大と訓練に結合せしめた。恐慌裡にあつて、我が全國労働が今日四萬八千の組合員を擁してゐる事實は、これこそ、この確信ある見透しとそれを實行に移すに足る統制的實力と更に大衆の信望との反映である。昨年六月創立大會當時の組合員總数は約四萬五千と發表せられそれに比すれば約三千名の増加を見てゐる。昨年創立當時から内部的に整理を重ねてしかもこの増加は我等の忠實なる闘争の結果である。

のみならず、我が全國労働は、無産政黨の擴大組合と労働大衆の政治的進出の上に於ても、今や、動かすべからざる中堅的勢力を占めてゐる。今日までの無産政黨合同運動に於てまた、經濟争闘を政治争闘に轉化するための實踐に於て、我等は極めて重要な役割を果したのである。

この地位は我等に、尨大なる未組織大衆の組織化と組合戦線統一を重要な使命として課してゐる。今や我が全國労働

今日までの我が同盟の闘争は、一口にいへば、一切が自然發生的であつた。我等は創立以來、意識的計画的な闘争の組織を目標としてゐるが、今日まで、組織、教育、争議、調査などにあつては、尙それらの實現が出来ない。これは今日の我が國の労働組合の組織勢力にありては、一般的な缺陷であつて、急速に克服出来るわけのものではない。しかし、今後我が全國労働は同盟自體のためには、また廣くは我國労働運動の確實な發展のためにも、この點に努力せねばならない。